

2011 年 2 月の東北地方の天候

【 2 月の特徴 】

○少雪

○高温、多照

(1) 2011 年 2 月の概況

この期間、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、低気圧や気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となったが、冬型の気圧配置が続くことはなく、寒気の流入は弱かった。このため、天気は短い周期で変わり、降雪は少なく、気温は高くなった。また、この時期としては高気圧におおわれた日が多く、日照時間は多くなった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。降雪の深さ月合計平年比は東北日本海側で 40%とかなり少なく、東北太平洋側で 43%とかなり少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、低気圧や気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となった。このため、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、大雪となった所があったが、高気圧におおわれて晴れの日もあった。東北太平洋側では晴れの日が多かった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北地方で多い。

中旬：この期間、低気圧が短い周期で通過し、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となった。このため、曇りや雪または雨の日が多かった。18 日は、低気圧が日本の南岸から三陸沖を北東に進んだ影響で、東北太平洋側で大雨となった所があった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

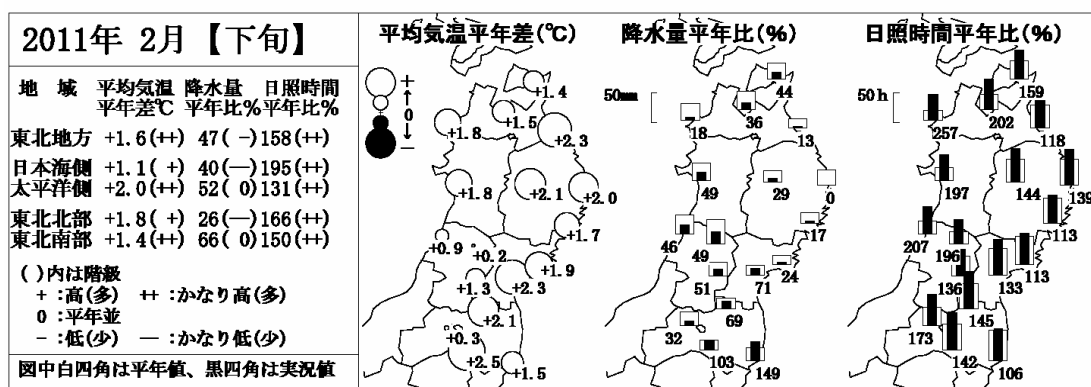
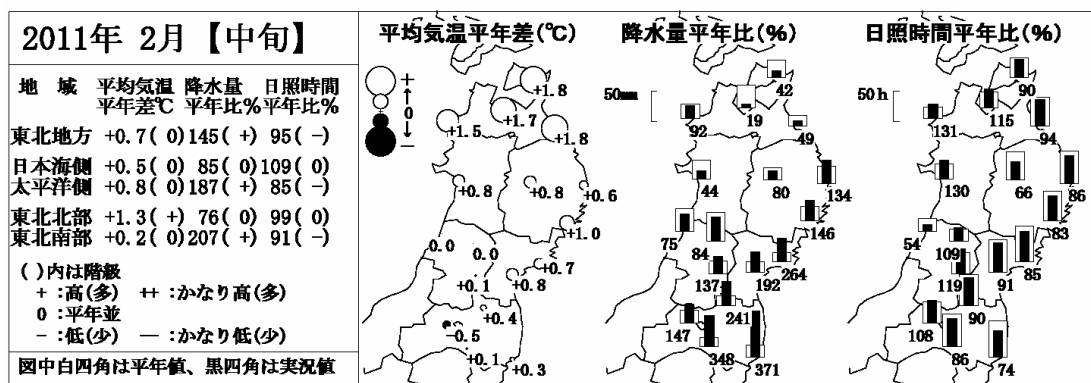
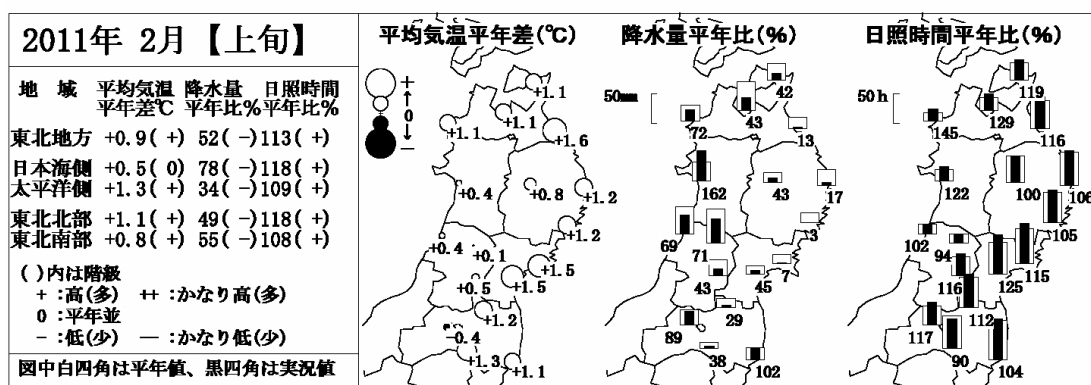
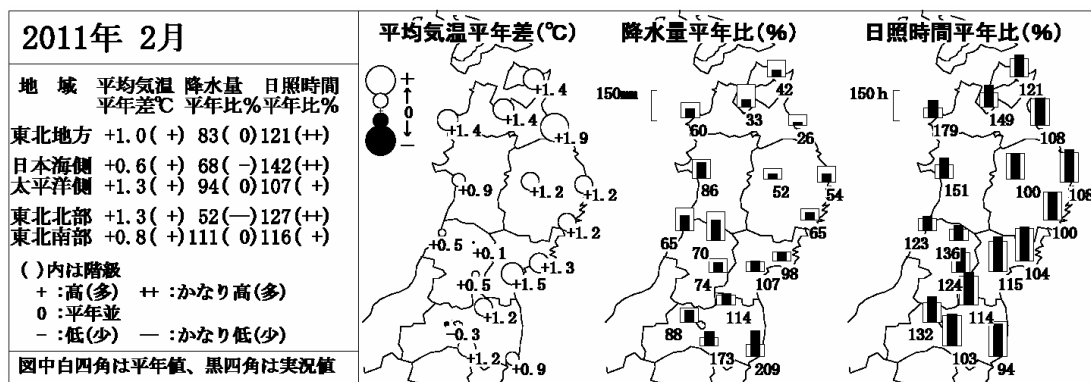
下旬：期間の前半は高気圧におおわれて晴れたが、期間の後半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。期間の中頃にかけて、南から暖かい空気が入ったため、気温は高くなった。25 日は、寒冷前線が東北地方を通過した影響で、山形県で大雨となったところがあった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北地方でかなり多い。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2011年2月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東三陸：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2011 年 2 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級	降水量(平年比)階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	降雪深さ(平年値)階級	最深積雪(平年値)階級
	(℃) (℃)	(mm) (%)		(h) (%)	(cm) (cm)	(cm) (cm)
青 森	0.3 (+1.4) +	38.5 (33) —*	12	108.9 (149) +*	62 (205) —*	129 (111) ○
深 浦	1.2 (+1.4) +	46.0 (60) —	12	87.4 (179) +*	37 (114) —*	34 (42) ○
む っ	-0.1 (+1.4) +	35.5 (42) —*	9	111.5 (121) +	59 (160) —*	70 (66) ○
八 戸	1.0 (+1.9) +*	13.5 (26) —*	4	142.8 (108) +	13 (103) —*	6 (28) —*
秋 田	1.1 (+0.9) +	79.0 (86) ○	14	99.2 (151) +*	53 (120) —*	43 (37) +
盛 岡	-0.4 (+1.2) +	28.5 (52) —	5	129.5 (100) ○	30 (98) —*	43 (33) +
大 船 渡	2.1 (+1.2) +	38.0 (65) ○	4	141.6 (100) ○	12 (27) —	5 (9) —
宮 古	1.5 (+1.2) +	43.0 (54) —	3	163.7 (108) +	27 (72) —	20 (29) ○
仙 台	3.2 (+1.5) +	52.0 (107) ○	6	175.3 (115) +*	20 (31) ○	9 (13) ○
石 巻	2.2 (+1.3) +	43.5 (98) ○	5	169.0 (104) ○	10 (24) —	8 (13) ○
山 形	0.3 (+0.5) ○	52.0 (74) —	8	123.2 (124) +*	62 (147) —*	57 (46) +
新 庄	-0.9 (+0.1) ○	101.0 (70) —	12	76.8 (136) +*	120 (242) —*	200 (123) +*
酒 田	1.9 (+0.5) ○	74.5 (65) —	16	73.9 (123) +	37 (119) —*	49 (30) +
福 島	3.0 (+1.2) +	57.0 (114) ○	9	164.5 (114) +	23 (73) —*	8 (18) —*
若 松	-0.7 (+0.3) ○	61.5 (88) ○	12	128.0 (132) +*	77 (160) —*	86 (46) +*
白 河	1.7 (+1.2) +	71.5 (173) +	7	157.5 (103) ○	45 (51) ○	17 (14) +
小 名 浜	4.6 (+0.9) +	129.5 (209) +*	9	164.8 (94) —	()	()

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い (多い) ○ : 平年並 - : 低い (少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が10個ずつになる) ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

かなり高い (多い) かなり低い (少ない)

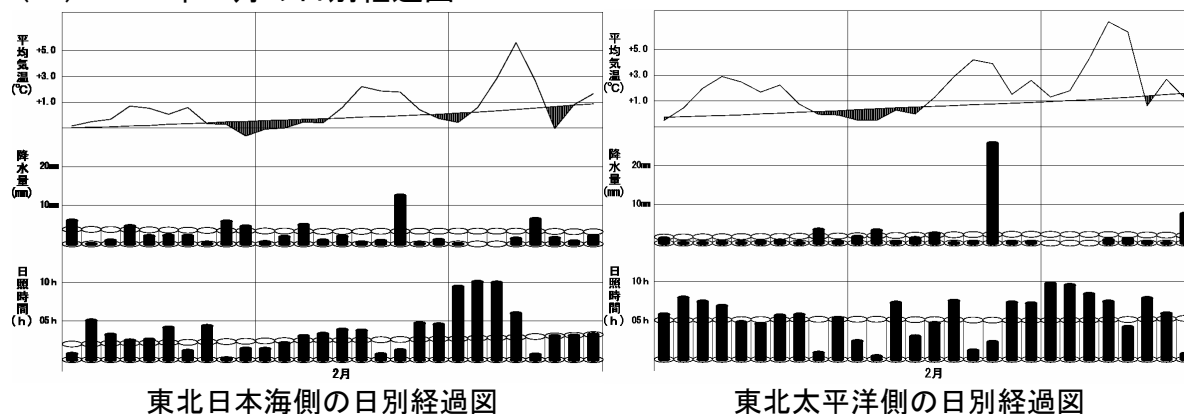
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ (日別値) に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値 (準正常値) は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値 (資料不足値) については、値の下に記載した統計日数 (統計に用いた、品質が十分な日別値の数) を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2011 年 2 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2011 年 2 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新
3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm（西暦年）	開始年	平年値 mm
3	青森	38.5	33	31.5（1995）	1882	116.0

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	深浦	87.4	179	78.8 (1998)	1940	48.8
2	若松	128.0	132	129.5 (2007)	1954	97.3
3	秋田	99.2	151	111.1 (2007)	1900	65.6

月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

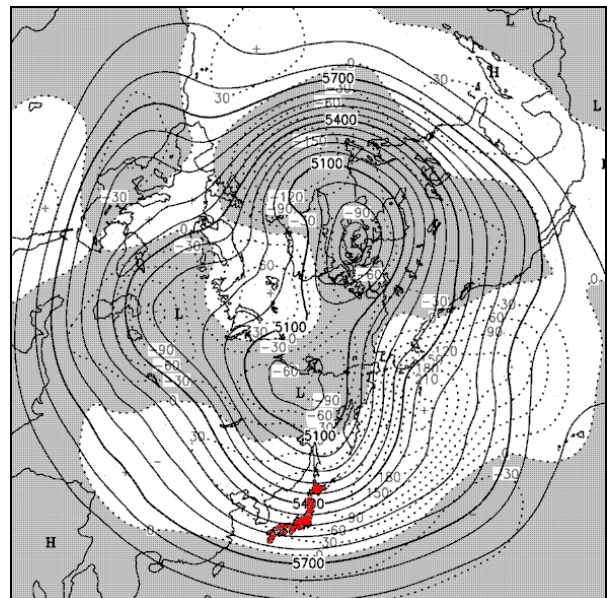
3位以内はなし

月最深積雪大きい方からの順位更新

順位	地点名	最深積雪 cm	起 日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
3	新庄	200	1	236 (1974)	1958	123

(7) 2011年2月の循環場の特徴

500hPa 高度は、日本付近の中緯度帯はアリューシャンの南を中心とする正偏差に広くおおわれた。日本の東側で正偏差が大きく、日本付近は西南西の流れとなった。日本付近への寒気の流入は弱く、冬型の気圧配置は続かなかった。



2011年2月の平均500hPa高度

実線は等高線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎

陰影部は負偏差（寒気に対応）